云ふに之に對する組織が無く指導するものが無かつた爲めであります。斯の如き狀況であつた爲め、杉山元次郎、賀川豐彦さん逸が大正十一年四月九日神戸に於て初めて農民組合を起したのであります。當時は地主が小作田に出來る米の六割を取り小作人に於ては僅かに四割を取つて居たのであるが、小作人に於ては不作の事もあり且又肥料等も買はねばならぬのであります。斯の如き小作人の窮狀を打開する爲め統制せられ組織を立つたる組合を作り組合員の團結の力を以て地主に當たらうとしたのであり。それを三割永久減額を目標として第一回の大會をやつたのでありますが之に對しては大体二割四分の永久割引を地主は承認したのであります。其の後全國各所に農民組合の各支部が出來之の小作人の窮乏を救ふべく交涉を開始したのであります

今や全國には十二萬戸の組織分子があり一家族六人として七十二

財團法人 協調會福岡出張所

財團法人 協調會福岡出張所